

地域を結ぶ ふれあいネット

富士見台

みんなの新聞

- ◎ 発行:富士見台地区協議会
- ◎ 発行責任者:武藤貴子
- ◎ 連絡先:調布市協働推進課  
042-481-7036
- ◎ 発行日:令和6年10月

あれから5年!

災害は忘れた頃にやってきました!

今から5年前、令和元年(2019年)10月12日土曜日の夜、我が調布市は台風19号の大雨により多摩川が氾濫する危機に見舞われました。

富士見台小学校に避難所が開設され900人を超える避難者が押し寄せました。

幸いにも多摩川は氾濫をまぬがれましたが、市内でも一部で内水氾濫による浸水が発生しました。



2019年10月12日午後9時頃の多摩川の様子  
水位が川岸の道路にせまっていることが判る  
(『令和元年東日本台風(台風第19号)調布市の記録』から)



市の想定を上回る数の避難者で満員になる富士見台小学校の体育館  
(東京新聞HPから)

この頃は、地球規模での気候変動の影響か世界各地で大規模な自然災害が発生しています。お正月には能登で大地震も発生しました。

「災害は忘れた頃にやってくる。」とされています。私たちも5年前のあの日の怖かった記憶を思い出して、もう一度自然災害に対する心の備えや防災・減災への準備を点検し見直しをしましょう。

# 水害が起きそうなときには、富士見台小学校ではなく、『グリーンホール』や『たづくり』の方へ避難しましょう！！

富士見台小学校は浸水する危険性があります。台風や集中豪雨などで洪水警報や氾濫警戒警報が出たら、直ぐに市役所や調布駅の近くなどのはげ上の親戚や知人の家に避難しましょう。知合いがなければ「グリーンホール」や「たづくり」へ避難しましょう。それも出来なければ、近くの高層ビルの高層階へ避難しましょう。

調布市が水害後の2021年に改訂した地域防災計画では、富士見台小学校を風水害時の避難所としています。しかし、多くの避難者が入る体育館は想定される多摩川の大規模氾濫で4mの浸水があるとされています。

体育館では避難者の頭上はるかに高く浸水するリスクがあります。隣接する府中市や狛江市では浸水のリスクのある場所を避難場所にはしていません。

私たちは、浸水のリスクがある体育館を避難場所とすることについては、以下の3点を市に要望しています。

1. 富士見台小学校は、水害時の避難所とはしない。
2. どうしても富士見台小学校を水害時の避難所とする必要があるのであれば、浸水が想定されない校舎の3階・4階のみを避難所とする。
3. 富士見台小学校はその様な状況であることを、強力に広報する。



〈現在、富士見台小学校の校門の脇に掲示された掲示板〉  
左上に想定浸水深が0.3m~4.0mであることは小さく表記されていますが、体育館の浸水のリスクは示されていません。



上の写真は『令和元年東日本台風(台風第19号)調布市の記録』に掲載された、富士見台小学校体育館の当日の状況を示す写真を加工し、多摩川氾濫の際に体育館が最大どこまで浸水するかを推定を赤線で示したものです。避難者の頭上高く浸水すると想定されます。